

平成17年度総点検の検証結果

- 主に観光目的で利用され一定の収入が見込める路線を中心に、昭和40年代から60年代にかけて有料道路を整備してきたが、現在では観光目的の新たな有料道路の整備の必要性は薄れている
- このため、道路公社については、今後新たな有料道路事業は実施せず、現在の事業が終了する平成42年度で解散することとした

蔵王有料道路事業の前倒し終了

- 蔵王における観光誘客を支援するため、平成27年4月29日から平成28年3月31日まで蔵王有料道路の無料通行措置を実施（有料道路は継続した上での一時的な措置で、道路公社の減収は県が補てん）
- 無料期間中の通行台数の大幅な増加などを踏まえ、引き続き蔵王の観光誘客を支援するため、平成28年4月以降も無料で通行できるよう、事業計画で同年7月末とされていた有料道路の事業終了時期を3月末に前倒し
- 事業の前倒し終了に伴い、これまでの累積債務を県補助金により一括処理するとともに、本道路に係る県出資金についてもその権利を放棄

山形駅西口駐車場事業の状況

- 近年は、ほぼ事業計画に近い利用台数で推移しているが、平成31年度の山形駅西口拠点施設の開館に伴い、今後さらなる需要が見込まれる
- 現在、建設のための借入金に係る償還を行っているが、平成31年度に償還が完了する予定
- さらに、事業計画期間が終了する平成42年度まで事業を継続すれば、県出資金の返還が可能